

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 |
| (2) 事業所名 | みなと保育所 |
| (3) 所在地 | 北九州市門司区清滝一丁目8番5号 |
| (4) 電話番号 | 093-331-6125 |

2 評価実施日

平成15年 9月16日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育所は、園庭から関門海峡が一望でき、背後には風師山を臨む閑静な住宅街に位置しています。この自然に恵まれた環境を生かし、1歳児から歩ing（園外保育）を保育計画に取り入れ、体力作りを行うとともに、自然や地域の人との触れあいを通して感性や社会性が育まれています。

各クラスとも一人一人の子どもの発達に応じた保育が展開されており、4、5歳児は混合クラスになっていることから、日々の生活の中で異年齢交流が図られ、子ども同士の良い関係が築かれています。子どもの受容や子ども同士の関係、子どもの人権についての取り組みは評価できます。保育環境について、0、1歳児クラスでは限られた環境の中で子どもが落ち着ける空間を作り出そうとする配慮が見られますが、3歳以上児については、静かに休息できるコーナーの工夫が望まれます。

健康管理や衛生面、感染症への対応などについてのマニュアルが整備されるとともに、嘱託医との連携が図られ、必要に応じて健康管理や感染症に関する情報が保護者に提供されており評価できます。

障害児保育については、保護者の理解のもと、クラスの子ども同士がごく自然に触れあうなど、お互いを認め合う環境が培われています。

地域の子育て支援では、地域交流スペースを活用して「仲よし広場」が定期的で開催されており、この活動を通して、子育てに不安を抱える母親等に対する来所による相談へとつながっています。

関係機関との連携では、総合療育センターとの連携による統合保育、市民福祉センターの育児サークルへの支援、近隣保育所との合同によるごみ拾い、地域の障害児施設との交流など、関係機関や団体との連携、交流が積極的に図られています。

安全衛生についての管理は、各種マニュアルなどが整備され、適切な対応が取られており、不審者侵入の実地訓練や職場内研修も計画的に実施されています。

評価対象ごとの評価（概要）

評価対象	評価結果
<p>子どもの発達援助</p> <p>一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p>	<p>保育計画は、地域の実態や保護者の意向等を考慮した保育所独自の計画が作成され、その内容については職員に周知されています。指導計画の立案、評価見直しも、各種会議で適切に実施されており、子ども一人一人の発達状態や生活リズムに配慮した保育が行われています。ケース会議は定期的実施されるとともに、その検討結果は週間指導計画に取り入れられ、保育実践に活かされています。また、ケース検討を実施するための書式を作成するなどの工夫も認められます。</p> <p>健康管理や感染症への対応のマニュアルなどが整備され、職員の対応も適切に実施されています。また、嘱託医と連携が十分に図られており、健康診断の結果や感染症への対応、健康な身体などについて「保健だより」やチラシが必要に応じて配布されるなど、保護者への情報提供に努めていることは評価できます。</p> <p>保育環境については、限られた環境の中で子どもが落ち着ける空間を作り出そうとする努力が見られますが、3歳以上児については静かに休息できるコーナーの工夫が望まれます。</p> <p>保育所の特色として歩ing（園外保育）を1歳児から計画的に取り入れ、体力作りを行うとともに、自然や地域の人との触れあい、社会への関心が高められています。遊びを通した環境では、プレイルームにコーナーが整備され、各クラス連携しながら異年齢児交流や同年齢同士遊びに活用されています。子どもの受容や子ども同士の関係、子どもの人権についての取り組みは評価できます。</p> <p>乳児保育については、0、1歳児の混合クラスで部屋が狭く、静かな空間を作ることは難しいと思われませんが、プレイルームを活用したり、家庭的な空間を作ったり、季節に応じて部屋の利用スペースを変更するなどの工夫が行われています。</p> <p>障害児保育が実施され、療育センターと連携しながら、個々の発達段階や課題に配慮した保育が実践されています。入所式で統合保育について保護者に説明が行われ、障害児がごく自然にクラスに受け入れられています。</p>
<p>子育て支援</p> <p>子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p>	<p>保護者との相互理解では、年1回、入所式直後に保護者との個別面談が実施され、その面談内容が整理、ファイルされています。一日保育士体験や園庭の清掃ボランティアを通して、父親参加を積極的に働きかけています。</p> <p>地域交流スペースを活用して「仲よし広場」を定期的開催するなど、地域の子育て支援の取り組みが行われるとともに、この活動</p>

	<p>を通して、子育てに不安を抱える母親等に対する来所による相談へとつながっています。また、市民福祉センターと連携し、子育てサークルへのアドバイスや情報提供が行われています。</p>
<p>地域住民や関係機関等との連携</p> <p>地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p>	<p>関係機関との連携では、総合療育センターとの連携による統合保育、市民福祉センターの育児サークルへの支援、近隣保育所との合同によるごみ拾い、地域の障害児施設との交流など、関係機関や団体との連携、交流が積極的に図られています。</p> <p>保育所行事への招待や救急法研修の案内などを町内会で回覧してもらうなど、近隣住民の協力の中で保育が実践できている様子が見えかけます。また、保育所として地域の一人暮らし年長者への働きかけも構想中とのことで、住民への理解を求める姿勢が感じられます。</p> <p>高校生ボランティアとの交流では、35人の高校生が終日、1対1に近い関係の中で交流できる体験は、園児にとっても高校生にとっても貴重な体験と思われます。</p> <p>地域の子育て情報に関する資料は、機関別に整理されていますが、その多くは事務室内に設置された棚に収納されているので、玄関や廊下等への設置が望まれます。</p>
<p>運営管理</p> <p>保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p>	<p>保育理念や基本方針については、事業団共通のものに保育所独自の内容が追加され、「入所のしおり」などで保護者に説明されるとともに、保育所内に掲示されています。</p> <p>職員会議やケース会議を通じて、職員の意見を聞く場が定期的に設けられています。また、詳細な生活チェックリストに基づき、自己評価を実施するほか、今回の第三者評価のアンケート結果をケーススタディとして、保育のあり方を相互に検証する試みがなされるなど、保育サービス向上への取り組みは評価できます。</p> <p>職員研修では、嘱託職員を含む職員の年間計画が作成されています。また研修成果はファイルされ、回覧後に、自由に閲覧できるようになっています。</p> <p>安全衛生についての管理は、各種マニュアルやチェックリストが整備され、適切な対応が取られています。また、不審者侵入の実地訓練や職場内研修が計画的に実施されています。</p>